

開講科目名 / Course	ヘルスアセスメント	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	藤内 美保	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、藤内 美保、山田 貴子、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	解剖生理、病態生理、主な疾患の基本的知識に基づき、看護に必要となる対象者の身体的な情報について、五感を駆使して収集する方法を系統別に学び、アセスメント能力を身に付ける。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスアセスメントの意義及び基本技術について説明できる。</li> <li>ヘルスアセスメントのために呼吸器系、循環器系、消化器系、神経系、運動器系などの観察視点や根拠について説明できる。</li> <li>ヘルスアセスメントのために呼吸器系、循環器系、消化器系、神経系、運動器系などのフィジカルイグザミネーションを正しく実施することができる。</li> <li>観察した情報から健康問題を予測し説明できる。</li> </ol>	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスアセスメントの意義、基本技術、健康歴聴取</li> <li>呼吸器系のヘルスアセスメント</li> <li>呼吸器系のヘルスアセスメント 学内演習</li> <li>循環器系のヘルスアセスメント</li> <li>循環器系のヘルスアセスメント 学内演習</li> <li>神経系のヘルスアセスメント</li> <li>神経系のヘルスアセスメント 学内演習</li> <li>運動器・感覚器のヘルスアセスメント</li> <li>運動器・感覚器のヘルスアセスメント 学内演習</li> <li>消化器系のヘルスアセスメント</li> <li>消化器系のヘルスアセスメント 学内演習</li> <li>フィジカル事例演習(1)課題1グループワーク</li> <li>フィジカル事例演習(2)課題2グループワーク</li> <li>フィジカル事例演習(3)シミュレーション演習</li> <li>フィジカル事例演習(4)発表会</li> </ol>	
その他の授業の工夫	講義と演習を繰り返しながら、理論と実践を結び付け理解を深められるように進めていく。また、系統別に学んだ内容をフィジカル事例演習を行うことで統合し、アセスメント能力を身につけられるように進めていく。	
時間外学修	テキストの該当箇所を事前に読み、解剖生理を復習し、分からない用語などを調べておく。講義後は、資料やノートの内容を復習する。学内演習のために、事前にどのような項目をどのような方法で行うのかなどを整理する。演習後は、演習で行った記録を課題レポートとしてまとめる。	
評価方法と評価割合	原則全出席と毎回の演習レポートの提出が試験(筆記・実技)の受験資格となる。20分以上の遅刻、早退は欠席として取り扱う。演習態度によっては参加を認めない場合もあり、欠席扱いとなる。評価の重み付けは筆記試験(50%)、実技試験(50%)で行う。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2](医学書院) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2,3,4,5,6,7,8,9,10,12,13,14](医学書院)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	藤内美保：病院の看護師 石田佳代子：病院の看護師 山田貴子：病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の経験を通し、臨床現場と理論を結び付けて、エビデンスに基づき教授する。	